

日本脳炎
への注意



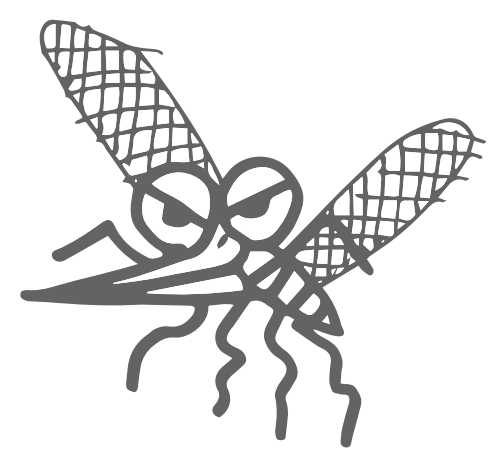
アカイエ蚊が媒介する日本脳炎について、現在の状況はどのようなものでしょうか。



小型アカイエ蚊が媒介するウイルスが原因の

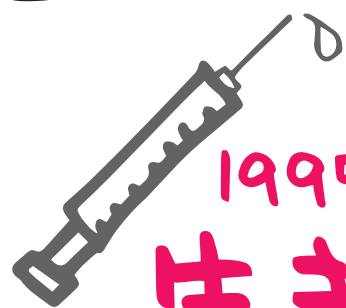
日本脳炎は、感染者の100人から千人に1人が発病し、その中の約2割の方が亡くなり、半分以上の方に後遺症

が残っています。症状は高熱、頭痛、嘔吐（おうと）、けいれんや異常行動などがあります。昭和40年



代前半には年間千人ほどの患者数でしたが、予防接種の普及のおかげで、今は年間6人程度、多くは予防接種をしていない

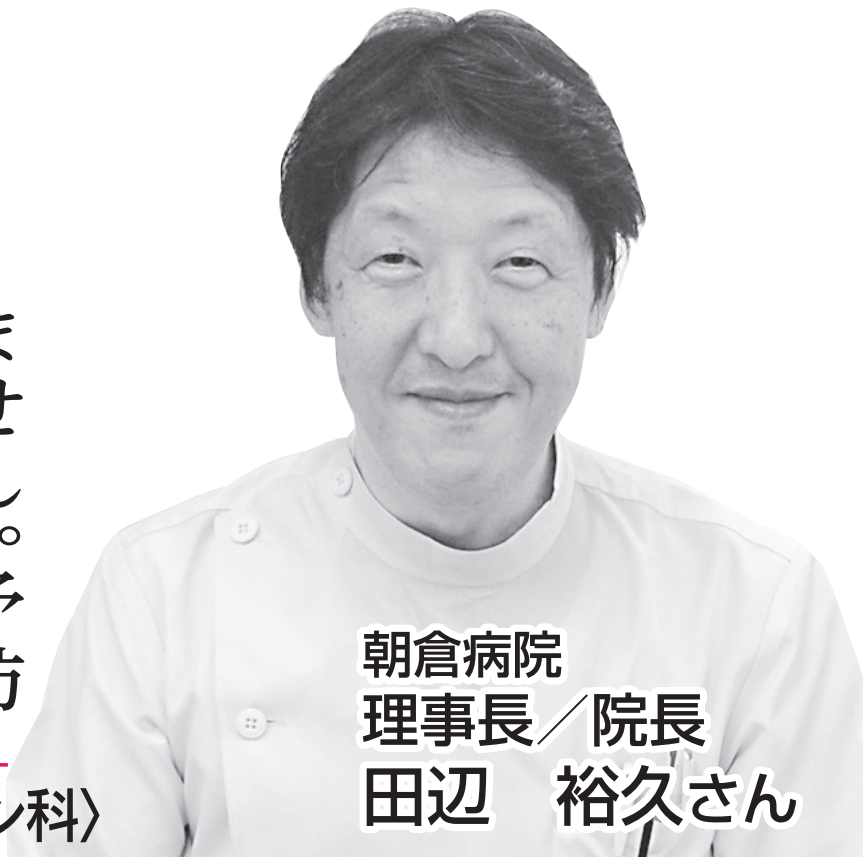
高齢者です。しかし、これから温暖化によって蚊の発生が多くなると、侮れ



1995年~2007年
生まれの方

ません。予防接種が、ますます重要になってくるでしょう。過去に予防接種の心当たりの方や、予防接種の副反応の

問題で接種が不十分だった1995年から2007年生まれの方は、近くの保健所や医師に相談されたらよいかもしれません。特に流行地への渡航予定の方は必須ですね。



朝倉病院
理事長/院長
田辺 裕久さん